



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 62 号

R4.5.11

文責 中西 勉



“チーム”で成し遂げた「完全試合」

4月10日（日）、プロ野球千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希投手が、28年ぶり、史上16人目となる「完全試合」を達成しました。また、佐々木投手は、続く4月17日（日）の試合でも、8回でマウンドを降りるまで、打者24人を完璧に抑え、2試合連続の「完全試合」達成まであと一步に迫る快投を披露しました。

5月6日（金）、今度は、中日ドラゴンズの大野雄大投手が、「完全試合」に認定されなかったものの、延長10回表に2アウトから二塁打を打たれるまで、1試合で打者29人を連続でアウトにするという達成がとても難しい記録を打ち立てました。

これらの大記録の樹立は、佐々木投手や大野投手のピッチングが極めて素晴らしかったからであることは言うまでもありません。しかし、「完全試合」というのは、一人のランナーも出塁させられないことを考えると、“チーム”の強い結束があつて初めて成し得るものであると思います。たとえピッチャーがバッターに平凡な内野ゴロを打たせても、それを野手がエラーしてしまつては「完全試合」を達成することはできません。また、これらの試合では、ヒット性の当たりを野手がファインプレーによってアウトにし、バックがピッチャーを盛り立てる場面もありました。だからこそ、今回の大記録は、ロッテや中日の選手が心を一つにして、“チーム”で達成したものであると思うのです。

私は、前回の月曜集会で、このことを取り上げて、男川っ子に“チーム”の大切さと素晴らしさについて話をしました。一人一人が“チーム”の一員としての自覚を持ち、みんなが一つの目標に向かって一生懸命に努力を続けた先には、大きな喜びと感動が待っていることでしょう。28日（土）の運動会本番では、低・中・高学年がそれぞれ“チーム”として、見事な輝きを放つことを信じています。



【特別支援学級】野菜の苗植え

本日、特別支援学級の子供たちが、4月20日（水）に土づくりをした畑に野菜の苗を植えました。今回も、「おかざき農遊会」の方々のご指導くださり、ピーマンやミニトマト、オクラ、キュウリなどの苗を、子供たちが一つずつ丁寧に植えました。毎日しっかりと世話をして、立派な野菜が実るのが楽しみです。



▲佐々木朗希投手（ロッテ）



▲大野雄大投手（中日）

